

平成22年4月期 第3四半期決算短信

平成22年3月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社伊藤園

コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 本庄 大介

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 副本部長

(氏名) 水野 俊作

TEL 03-5371-7205

四半期報告書提出予定日 平成22年3月17日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年4月期第3四半期の連結業績(平成21年5月1日～平成22年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年4月期第3四半期	253,261	△0.8	10,103	21.6	9,445	18.5	4,952	35.9
21年4月期第3四半期	255,360	—	8,310	—	7,972	—	3,644	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年4月期第3四半期	38.40	38.29
21年4月期第3四半期	27.87	27.79

(注)上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については3ページをご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年4月期第3四半期	163,904	99,250	60.4	798.49
21年4月期	160,803	99,989	62.1	800.94

(参考) 自己資本 22年4月期第3四半期 99,051百万円 21年4月期 99,828百万円

(注)上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については3ページをご覧ください。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年4月期	—	19.00	—	19.00	38.00
22年4月期	—	19.00	—	—	—
22年4月期 (予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

上記の配当の状況は普通株式に係る配当であり、第1種優先株式に係る配当の状況については3ページをご覧ください。

3. 平成22年4月期の連結業績予想(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	335,500	0.8	12,000	13.1	11,000	6.0	5,200	9.1	39.03

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については3ページをご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年4月期第3四半期 91,212,380株 21年4月期 91,212,380株

② 期末自己株式数 22年4月期第3四半期 2,013,498株 21年4月期 2,019,425株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年4月期第3四半期 89,198,334株 21年4月期第3四半期 89,191,395株

(注)上記の発行済株式数は普通株式に係る発行済株式数であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については3ページをご覧ください。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年4月期	円 銭 —	円 銭 24 00	円 銭 —	円 銭 24 00	円 銭 48 00
22年4月期	—	24 00	—		
22年4月期(予想)				24 00	48 00

(2) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年4月期第3四半期	43	41	43	30
21年4月期第3四半期	32	87	32	79

	1株当たり純資産	
	円	銭
22年4月期第3四半期	798	49
21年4月期	805	94

(3) 連結業績予想における第1種優先株式に係る1株当たり情報

	1株当たり当期純利益	
	円	銭
通期	49	00

(4) 発行済株式数(第1種優先株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年4月期第3四半期 35,246,962株 21年4月期 35,246,962株

② 期末自己株式数

22年4月期第3四半期 396,662株 21年4月期 21,222株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

22年4月期第3四半期 35,182,609株 21年4月期第3四半期 35,227,866株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、各種の経済対策の効果が期待されましたものの、本格的回復にはいたらず、厳しい雇用情勢や、低迷する所得環境など、依然として厳しい状況のまま推移いたしました。

飲料業界におきましても、景気の先行きの不透明感や、改善の見られない雇用・所得環境を背景とする節約志向が加速するなど個人消費は低迷を続けており、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお、何を不満に思っているか」を念頭に置き、積極的な製品開発・営業展開を行うとともに、市場環境や競合他社の分析に基づいた経営資源の投下を行い、経営の効率化を図ってまいりました。

売上に関しましては、主力商品である緑茶飲料は、嗜好性に合わせた幅広い品揃えが評価を頂き、販売数量は増加しましたものの、市場における低価格化の影響を受け、前年と比較し微減いたしました。また、紅茶の新たなおいしさをご提案した「TEAS' TEA NEW YORK」や、原料から製法に至るまで、こだわり抜いた「TULLY'S COFFEE BARISTA'S CHOICE」を発売するなど、グループ企業とのコラボレーション製品を積極的に投入してまいりました結果、売上高は2,532億61百万円（前年同期比0.8%減）と、底堅く推移いたしました。

利益面におきましては、原価低減の推進や、販売促進費の効率的投下等により経営の効率化を図り、営業利益は101億3百万円（前年同期比21.6%増）、経常利益は94億45百万円（前年同期比18.5%増）、四半期純利益は49億52百万円（前年同期比35.9%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,639億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して31億円増加いたしました。総資産の主な変動要因は、「現金及び預金」が19億71百万円、有形固定資産の「リース資産」が59億25百万円それぞれ増加し、「受取手形及び売掛金」が46億25百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は646億54百万円となり、前連結会計年度末と比較して38億39百万円増加いたしました。負債の主な変動要因は、「借入金」が38億45百万円、「リース債務」が63億80百万円それぞれ増加し、「買掛金」が53億99百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は992億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億38百万円減少いたしました。純資産の主な変動要因は、四半期純利益により49億52百万円増加し、剰余金の配当により51億32百万円、第1種優先株式等の自己株式の取得により3億27百万円、それぞれ減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の62.1%から60.4%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、125億53百万円の収入となりました。主な要因といたしましては、増加要因として、税金等調整前四半期純利益90億98百万円、減価償却費50億7百万円、売上債権の減少45億43百万円であるのに対し、減少要因として、仕入債務の減少53億38百万円、法人税等の支払額37億26百万円であったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、60億49百万円の支出となりました。これは主に設備投資、システム投資等による支出39億59百万円に加えて、タリーズコーヒージャパン株式会社の株式追加取得による支出9億2百万円、ネオス株式会社ほか投資有価証券の取得による支出14億41百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、41億24百万円の支出となりました。これは主にタリーズコーヒージャパン株式会社の銀行借入れ（短期借入れによる純増減額11億55百万円、長期借入れによる収入28億円）に対し、配当金の支払が47億73百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が27億94百万円あったことによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して23億18百万円増加し、163億6百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期におきましては、海外における新たな金融不安の兆しや海外景気の下振れ懸念、国内におきましても、力強い回復の見えない企業業績を背景とした雇用情勢の一層の悪化や個人所得の伸び悩み等、景気を下押しするリスクが内在しており、企業を取り巻く環境は引き続き厳しいまま推移すると思われま

す。当グループといたしましては、より厳格な品質管理のもと「自然・健康・安全・良いデザイン・おいしい」の製品開発コンセプトに沿い、お客様に喜んでいただける製品・サービスを提供し、グループ全体が一体となり、業績の向上に努めてまいります。

通期の業績予想につきましては、第3四半期累計期間までの進捗状況を鑑み、見直しをせず、据え置いております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末におけるたな卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについて正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,306	14,334
受取手形及び売掛金	23,992	28,617
商品及び製品	15,854	15,515
原材料及び貯蔵品	8,493	8,884
その他	9,171	11,395
貸倒引当金	△79	△123
流動資産合計	73,738	78,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,937	15,592
土地	14,032	14,061
リース資産(純額)	18,464	12,539
その他(純額)	4,456	4,033
有形固定資産合計	51,890	46,226
無形固定資産		
のれん	14,109	14,065
リース資産	155	166
その他	10,055	9,071
無形固定資産合計	24,320	23,303
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	13,954	12,649
固定資産合計	90,165	82,178
資産合計	163,904	160,803

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,522	22,921
短期借入金	1,375	—
リース債務	4,557	2,796
未払費用	11,841	12,382
未払法人税等	1,725	1,354
賞与引当金	1,308	2,565
その他	1,673	1,732
流動負債合計	40,003	43,750
固定負債		
長期借入金	2,470	—
リース債務	15,451	10,832
退職給付引当金	4,127	3,679
その他	2,601	2,551
固定負債合計	24,650	17,064
負債合計	64,654	60,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	20,259	20,259
利益剰余金	71,947	72,141
自己株式	△5,204	△4,876
株主資本合計	106,914	107,435
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	335	270
繰延ヘッジ損益	△4	△23
土地再評価差額金	△6,196	△6,196
為替換算調整勘定	△1,998	△1,658
評価・換算差額等合計	△7,863	△7,607
新株予約権	12	14
少数株主持分	186	146
純資産合計	99,250	99,989
負債純資産合計	163,904	160,803

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成21年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)
売上高	255,360	253,261
売上原価	129,282	128,762
売上総利益	126,077	124,498
販売費及び一般管理費	117,767	114,395
営業利益	8,310	10,103
営業外収益		
受取利息	40	18
受取配当金	41	39
持分法による投資利益	39	38
その他	267	221
営業外収益合計	388	318
営業外費用		
支払利息	210	569
為替差損	337	271
その他	178	136
営業外費用合計	727	976
経常利益	7,972	9,445
特別利益		
固定資産売却益	—	2
固定資産受贈益	79	2
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	82	4
特別損失		
固定資産廃棄損	91	52
減損損失	199	29
投資有価証券評価損	457	232
ゴルフ会員権評価損	—	22
その他	6	13
特別損失合計	754	351
税金等調整前四半期純利益	7,300	9,098
法人税等	3,577	4,105
少数株主利益	78	40
四半期純利益	3,644	4,952

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成21年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,300	9,098
減価償却費	2,876	5,007
減損損失	199	29
のれん償却額	677	705
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15	△100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,271	△1,256
退職給付引当金の増減額(△は減少)	358	447
受取利息及び受取配当金	△82	△57
支払利息	210	569
為替差損益(△は益)	73	104
持分法による投資損益(△は益)	△39	△38
固定資産受贈益	△79	△2
固定資産廃棄損	91	52
投資有価証券評価損益(△は益)	457	232
投資有価証券売却損益(△は益)	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	4,206	4,543
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,809	△43
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,716	1,978
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△226	227
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,390	△5,338
未払消費税等の増減額(△は減少)	339	1,184
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,681	△599
その他	△101	43
小計	5,841	16,789
利息及び配当金の受取額	87	63
利息の支払額	△210	△571
法人税等の支払額	△6,662	△3,726
営業活動によるキャッシュ・フロー	△943	12,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△12	△1,441
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,185	△3,959
有形及び無形固定資産の売却による収入	4	33
長期前払費用の取得による支出	△172	△35
関係会社株式の取得による支出	△540	△902
その他	13	256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,892	△6,049

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成21年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,155
長期借入れによる収入	—	2,800
長期借入金の返済による支出	—	△110
自己株式の取得による支出	△11	△345
自己株式の処分による収入	5	2
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△929	△2,794
配当金の支払額	△4,733	△4,773
少数株主への配当金の支払額	—	△52
その他の支出	△6	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,675	△4,124
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120	△62
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,632	2,318
現金及び現金同等物の期首残高	22,549	13,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,916	16,306

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日)

	茶葉 (リーフ) 関連事業 (百万円)	飲料 (ドリンク) 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	21,974	218,467	14,918	255,360	—	255,360
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	21,974	218,467	14,918	255,360	—	255,360
営業利益	3,139	21,381	391	24,912	(16,602)	8,310

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)

	茶葉 (リーフ) 関連事業 (百万円)	飲料 (ドリンク) 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	22,157	216,046	15,057	253,261	—	253,261
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	22,157	216,046	15,057	253,261	—	253,261
営業利益	3,706	21,564	893	26,163	(16,060)	10,103

(注) 1 事業区分は製品・商品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、茶葉(リーフ)関連、飲料(ドリンク)関連、その他に区分しております。

2 各事業の主な製品及び商品

(1) 茶葉(リーフ)関連事業……緑茶・ウーロン茶等の茶葉(リーフ)製品

(2) 飲料(ドリンク)関連事業……日本茶・中国茶・野菜・果実・コーヒー・紅茶・機能性等の飲料(ドリンク)製品

(3) その他の事業……上記以外の製品及び仕入商品、食材等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。